

今

平成24年度

予算の概要

湯沢町が
もっと暮らしやすく
なるといいなあ

年

の

お

金

の

使

い

道



湯沢町



なるほど・・・
そうゆことかあ

4一般会計 68億 1,900万円

湯沢町の

予算!

一般会計歳入

地方消費税交付金 1億円 (1.5%)

諸収入 1億 8,363万円 (2.7%)

地方譲与税 6,200万円 (0.9%)

その他 7,430万 3千円 (1.1%)

県支出金 2億 6,653万 4千円 (3.9%)

自主財源 68.7%

依存財源 31.3%

町債

6億 1,240万円 (9.0%)

国庫支出金

8億 3,622万 8千円 (12.3%)

繰入金等

6億 7,051万 5千円 (9.8%)

歳入
68億円
1,900万円

町税

38億 3,730万円 (56.3%)

前年比
2億 2582万 6千円減
DOWN

分担金及び負担金

4,741万 6千円 (0.7%)

使用料及び手数料

5,050万 3千円 (0.7%)

財産収入

7,817万 1千円 (1.1%)

町税内訳	金額	割合
固定資産税	30億 7,337万 5千円	80.1 %
町民税	5億 9,382万 7千円	15.5 %
入湯税	8,467万 3千円	2.2 %
町たばこ税	6,788万 4千円	1.8 %
軽自動車税	1,724万 1千円	0.4 %
都市計画税	30万円	0.01 %

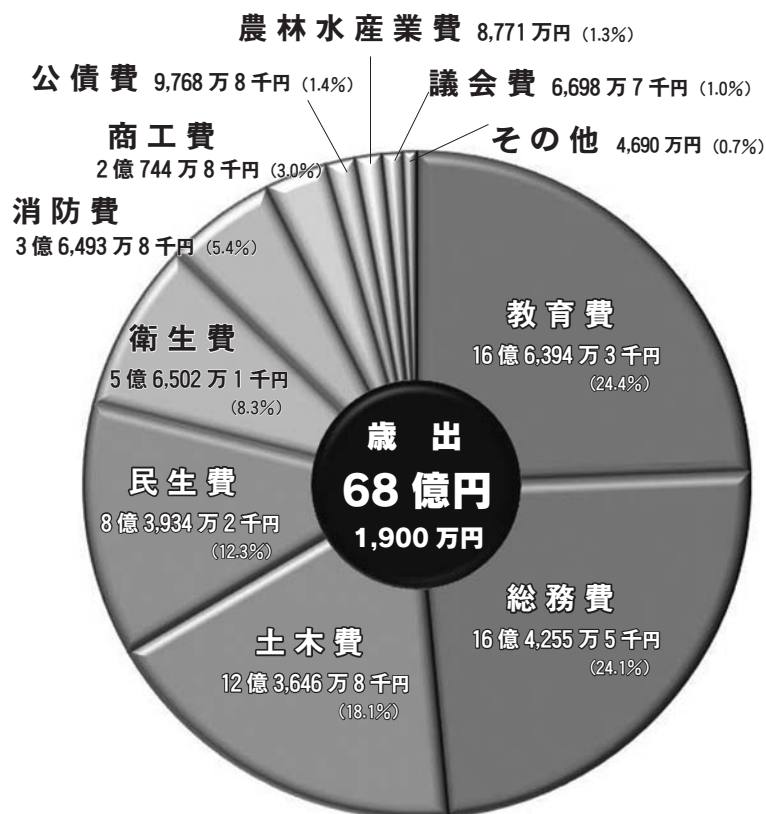
歳入ではその大半を占める町税を前年度に比べ2億 2,582万 6千円の大幅減と見込みました。これは今年度が3年に1回行われる家屋の評価替の年にあたるからです。固定資産税だけで見ますと前年度から2億 2,241万 2千円減となりました。町の歳入にとって固定資産税がいかに重要か分かります。国からのお金は統合文教施設整備負担金や交付金が4億 6千万円入ってくることにより、大幅増となりました。繰入金は財政調整基金から3億 3,566万 4千円、学校施設整備基金から3億 3,084万円を繰り入れるため大幅増となりました。

町債は総額で6億 1,240万円借りる予定とし、その中でも文教施設整備のため5億 470万円借りることになります。



- 【歳入】
- ▽町税・・・みなさんに納めていただく「町民税」、「固定資産税」、「たばこ税」、「軽自動車税」などの税金
 - ▽町債・・・町が行う借入金（借金）のこと
 - ▽繰入金・・・基金からの取り崩し金や他の会計から入ってくるお金
 - ▽地方交付税・・・2種類あり、市町村の財政力に応じて国から交付されるお金を「普通交付税」という。湯沢町がもらっているのは「特別交付税」という特別の財政需要に応じて交付されるもの
 - ▽国庫支出金・・・市町村が行う特定の事業に対し、国から交付されるお金
 - ▽県支出金・・・市町村が行う特定の事業に対し、県から交付されるお金
 - ▽基金・・・町の貯金

一般会計歳出【目的別】



文教施設建設工事開始により、教育費大幅増！

歳出を行政目的別に見ると、本格的に建設工事が始まる文教施設整備の費用が大幅増となった教育費が一番大きな割合を占めています。続いて職員の給与や庁舎管理、選挙、窓口サービスなどの経費を計上している総務費、道路・公園・河川・住宅の整備や維持補修費などの土木費、障がい者・高齢者福祉や保育園運営費を含む民生費と続きます。



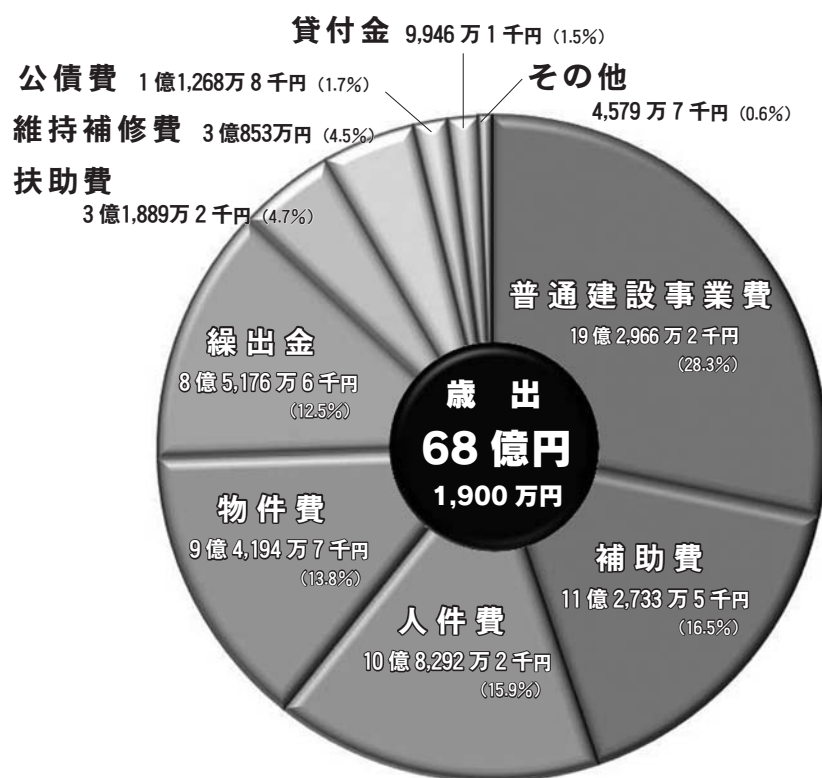
一般会計歳出【性質別】

文教施設建設工事開始により、普通建設事業費大幅増！

今度は歳出を性質的な経費に分類して見てみましょう。一番大きな割合を占めるのは普通建設事業費です。目的別に見たときと同様、本格的に建設工事が始まる文教施設整備の費用増が大きな理由です。

2番目は各種団体への補助金や南魚沼市への委託費（ごみ処理や消防業務など）、公営企業会計（水道事業、病院事業）への補助金などが計上されている補助費です。

3番目の人件費には、職員の給料・手当の他、各種委員の報酬、議員の報酬などが含まれます。



- 【歳出】
- ▽人件費：…議員報酬、職員給与、非常勤特別職の報酬など
 - ▽扶助費：…社会保障制度の一環として、生活困窮者、高齢者、児童、心身障がい者等に対して行っている様々な支援に要する経費
 - ▽公債費：…町の借金を返済する経費
 - ▽普通建設事業費：…道路や公共施設の新増設に必要なとされる経費
 - ▽災害復旧事業費：…災害で被災した施設などを復旧するための経費
 - ▽物件費：…賃金、旅費、公債費、需用費など消費的性質をもつ経費
 - ▽維持補修費：…道路や公共施設などを維持管理するために必要な経費
 - ▽補助費：…各種団体に対する補助金や負担金の他、報償費（講師謝金等）、役務費（保険料等）
 - ▽積立金：…基金へ積み立てるお金
 - ▽繰出金：…他の会計へ出すお金

人件費の状況

人件費の抑制に努めています



人件費の状況（平成 22 年度 決算）

人件費には、職員の他に町議会議員、非常勤特別職などにかかる報酬、給料、手当、共済費、負担金などが含まれます。

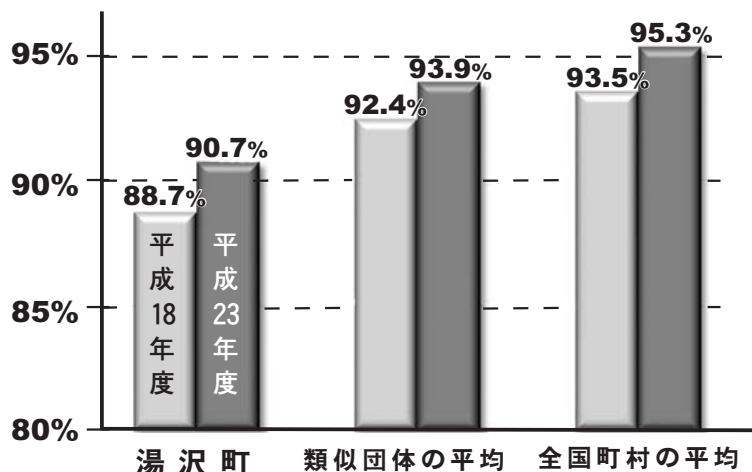
普通会計歳出額	実質収支	人件費	歳出額に占める人件費の率	(参考) H21 年度の人件費率
62 億 8,224 万円	3 億 2,671 万円	11 億 2,525 万円	17.9%	17.9%

▷ラスパイレス指数

(各年 4 月 1 日)

ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を 100 としたときの自治体職員の給与水準を示すものです。湯沢町の場合、平成 23 年度は 90.7% ですので、国家公務員より 9.3% 水準が低いことになります。

※類似団体とは、人口規模や産業構造が湯沢町と類似している市町村のことです。類似団体の平均とは、類似団体のラスパイレス指数を単純に平均したものです。



職員数の推移

職員数については、湯沢町定員適正化計画に則り、事務事業の見直し、民営化・委託化の推進、より効率的な組織体制と職員配置を実施することにより削減を図り、引き続き人件費の抑制を進めて行きます。

(単位：人)

年度 部門別	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年
一般行政	123	121	122	117	114
教育	27	26	17	19	16
普通会計	150	147	139	136	130
公営企業等会計	16	14	15	16	16
総合計	166	161	154	152	146

5 年間で 20 名 減
DOWN

- (注意) 1 各年度における部門別職員数です。(特別職、教育長除く)
2 平成 24 年 4 月 1 日の職員数は、146 名です。

特別職の報酬等

町長や議会議員等の報酬等を改定する場合は、町民で構成する「特別職報酬等審議会」で検討します。審議会では、町長からの諮問を受けて具体的に報酬額や改定の期日を検討し、審議会での決定事項を町長に答申します。町長は審議会の決定事項を尊重して改正条例を町議会に提出し、議決を受けます。

▶ 報酬等月額

区 分	平成 24 年 4 月 1 日現在	平成 23 年 4 月 1 日現在			
	湯 沢 町	湯 沢 町	県内町村平均	全国町村平均	類似団体平均
町 長	723 千円	759 千円	720 千円	732 千円	723 千円
副 町 長	595 千円	614 千円	572 千円	602 千円	595 千円
教 育 長	522 千円	522 千円	490 千円	547 千円	545 千円
議 長	288 千円	289 千円	264 千円	290 千円	288 千円
副 議 長	236 千円	244 千円	205 千円	234 千円	236 千円
議 員	213 千円	213 千円	185 千円	213 千円	215 千円

一般職の給与

▶ 平均給料月額、平均年齢などの状況

一般行政職	平成 23 年 4 月 1 日現在			平成 22 年 4 月 1 日現在
	湯 沢 町	類似団体平均	新潟県職員	湯 沢 町
職員一人当たりの 平均給料月額	309,500 円	314,513 円	336,361 円	317,500 円
職員一人当たりの 平均給与月額	334,295 円	341,378 円	364,284 円	341,482 円
職員の平均年齢	43.3 歳	43.1 歳	42.8 歳	44.5 歳

※平均給与月額とは、給料と各種手当を合算したもの（時間外勤務手当等除く）です。

	平成 22 年度			平成 21 年度
	湯 沢 町	類似団体平均	新潟県職員	湯 沢 町
一人当たり年間給与額 （普通会計決算）	546 万円	562 万円	667 万円	544 万円

※退職手当は含みません。

▶ 期末・勤勉手当の状況（平成 22 年度）

・一人当たり平均支給額 133 万円

・支給割合

6 月期 期末手当 1.225 月分 勤勉手当 0.645 月分

12 月期 期末手当 1.375 月分 勤勉手当 0.645 月分

※勤勉手当は、勤務成績が良好の場合の支給月数です。



平成 24 年度の主要事業

CLOSE UP



統合文教施設建設 (P 38)

▶平成 26 年度開校予定の統合文教施設として整備を予定している施設のうち、小・中教室棟と交流・アリーナ等などの建設工事に着手します。施設の規模の関係で単年での施工が難しいことや、各棟をつなぐ電気・通信設備等の関係から 3 か年の継続費として設定しました。



三俣地域振興対策 (P 14)

▶道の駅や街なみ環境整備をはじめとする町事業と、国直轄の清津川護岸整備事業や関連事業に取り組みます。



湯沢高原施設改修・再整備 (P 53)

▶湯沢温泉ロープウェーを、夏は「高山植物と雲上の花公園」として、冬は「温泉街を抱く湯沢地域の高所スキー場」として再生させ、安全でより魅力ある観光施設とするために、花の植栽、夏冬共用リフトの整備、安全性確保のためのリフト改修、老朽建物施設の改修や、新たな魅力付けとしてのアスレチック施設を新設します。



【繰越】役場庁舎東館の耐震補強工事 (P 53)

▶災害時の情報収集・対応拠点となる役場庁舎について、建設から 45 年を経過していることから耐震化の検討を進めてきました。23 年度に耐震補強設計が終了し、今年度は改修工事を実施いたします。



ソルトレイク郡長来町 国際姉妹都市提携調印 (P 37)

▶平成 15 年からアメリカ合衆国ソルトレイク郡マグナとの交流が始まり、23 年度は町長・議長・総務文教委員長がマグナを訪問し、ソルトレイク郡長と会談し親交を深めました。そして今年度はソルトレイク郡長が湯沢町に来町し、その時に姉妹都市提携の調印を行うこととなりました。

総合型地域スポーツクラブの自立に向けた支援 (P 44)

▶「湯沢町総合型地域スポーツクラブ」(通称：ユースポ！) に町のスポーツ振興事業を移行し、支援をしていきます。将来に向けて、生涯を通しての健康づくりや仲間づくりなどができる環境ができ、町民の自発的意思での行動を促す一助になると考えています



町債・基金残高

町 債 と 基 金

経費削減に努めています

町債 ～湯沢町の借金～

	一 般	下水道	水 道	病 院	計
23 年度末 残 高	13 億 6,337 万 3 千円	60 億 9,398 万 7 千円	13 億 5,188 万円	2 億 4,715 万 1 千円	90 億 5,639 万 1 千円
23 年度中 償 還	7,877 万 3 千円	4 億 4,434 万 6 千円	1 億 149 万 3 千円	1,076 万 5 千円	6 億 3,537 万 7 千円
24 年度中 借 入	6 億 1,240 万円	1 億 5,550 万円	0 円	0 円	7 億 6,790 万円
24 年度 残高見込	18 億 9,700 万円	58 億 514 万 1 千円	12 億 5,038 万 7 千円	2 億 3,638 万 6 千円	91 億 8,891 万 4 千円

本来、自治体はその年使うお金は同じ年の収入で賄わなければなりません。しかし、大規模な建設事業など一時的に多額の費用を必要とする場合、借入金をする事が認められています。平成 24 年度予算においてその残高は、返済よりも新たな借入が多いため、前年度から 1 億 3,252 千円 3 千円増加する見込みとなっています。

増加する主な要因は、24 年度から本格化する統合文教施設整備工事です。5 億 470 万円の借入を行います。また、平成 27 年度までに総額 15 億

1,090 万円の借入を行う予定となっています。その他、下水道会計において老朽化した湯沢・浅貝浄化センターの再構築事業や三保地域の下水道整備事業も予定されており、町債の残高は今後増加していく見込みです。

次世代への負担をできるかぎり軽くするため、事業の見直しや経常経費の削減などを実施していきます。

町債（借金）残高推移

19 年度末	108 億 2,865 万 6 千円
20 年度末	98 億 9,398 万 5 千円
21 年度末	96 億 7,761 万 6 千円
22 年度末	93 億 7,287 万 6 千円
23 年度末	90 億 5,639 万 1 千円

基金 ～湯沢町の貯金～

基金（貯金）残高

平成 23 年度末現在

基金 残 高	一 般 会 計	財政調整基金	19 億 6,512 万 7 千円
		減債基金	7,387 万 2 千円
		学校施設整備基金	10 億 2,691 万 5 千円
		美術館建設基金	1 億 81 万 6 千円
		ふるさと基金	1 億円
		公共事業基金（地公金）	2174 万 4 千円
		湯沢こころのふるさと基金	793 万円
	特 別 会 計	国民健康保険支払準備基金	8,232 万円
		下水道施設改修基金	2 億 1,169 万 8 千円
		介護給付費準備基金	7,331 万 7 千円

基金（貯金）残高推移

19 年度末	30 億 5,923 万 2 千円
20 年度末	27 億 7,401 万円
21 年度末	33 億 6,400 万円
22 年度末	37 億 6,585 万 2 千円
23 年度末	36 億 6,373 万 9 千円

町債とは反対に、町の貯金のことを基金といいます。一番残高が多い財政調整基金は特定の目的のない貯金で、収入に対して支出が不足した場合に使います。平成 24 年度は 3 億 3,566 万 4 千円を基金から繰り入れる予算となりました。

また、学校施設整備基金は統合文教施設整備のために積み立てていたもので、平成 27 年度の施設完成までに全額を使う予定となっています。

I 四季を通じて、また訪れたくなるまちづくり

1 観光と商工業の振興

観光産業の支援	12
雪国観光圏	12
湯沢町観光協会への補助金	12
越後湯沢秋桜マラソン大会	13
観光施設管理費	13
公衆浴場費	13
住宅・事業用施設リフォーム支援	14
商工振興費	14

2 三俣地区の地域振興

三俣地域振興対策費	14
-----------	----

II 働きがいのある活力あふれるまちづくり

1 定住・交流促進事業

湯沢ぐらしの発行	15
----------	----

2 企業誘致の推進

企業誘致	15
------	----

3 農林水産業の振興

農業委員会費	16
中山間地域直接支払制度	16
農作物被害防除事業	16
水田営農活性化対策費	16
花の郷運営費	17
体験工房大源太運営費	17
町有林費	17

III 安心して自分らしく暮らせるまちづくり

1 社会福祉

社会福祉活動費	18
社会福祉総務管理費	18
老人福祉活動費	18
高齢者生活支援事業費	19
老人施設等入所費	19
やすらぎ荘管理費	19
高齢者団体等助成費	19

2 障がい者施策

障がい者生活支援事業費	19
障がい者自立支援事業費	20
障がい者団体等助成費	20

3 介護保険事業

介護保険事業費	20
---------	----

4 健康づくり事業

保健衛生総務管理費	21
健康づくり推進費	21
総合福祉センター等管理費	21
健康増進施設管理費	21

5 予防接種事業	
予防接種事業	22
う蝕予防費	22
6 がん検診の受診率向上	
検診事業	22
7 病院事業	
病院事業	22
8 国民健康保険事業	
国民健康保険事業費	23
9 後期高齢者医療保険事業	
後期高齢者医療事業費	23
10 子育て支援の充実	
母子健康事業費	24
児童福祉総務費	24
子育て支援センター費	24
湯沢児童クラブ運営費	25
保育園運営費	25
児童遊園費	26
ひとり親家庭等医療費	26
児童手当費	26

IV 自然とともに生き、快適に暮らせるまちづくり

1 生活環境の向上と環境基本計画	
環境衛生一般管理費	27
霊苑管理費	27
塵芥処理一般管理費	27
塵芥処理費	28
廃棄物減量化推進費	28
ストックヤード管理費	28
し尿処理費	28
2 交通安全対策	
交通安全対策費	29
3 バイオマス関連事業	
ペレットストーブ購入費補助	29
家庭系廃食油回収事業	29
4 防災対策事業	
災害救助費	30
消防総務費・消防団費	30
水防費	30
災害対策費	31
災害復旧費	31
5 木造住宅耐震診断・改修の充実	
木造住宅耐震診断・改修事業	31
6 克雪住宅の整備支援	
克雪住宅整備事業	31
7 除雪体制の強化充実	
除雪対策費	32

8 道路・橋梁・河川維持管理及び改良

土木総務管理費	32
道路維持管理費	32
道路新設改良事業	33
橋梁維持管理費	34
交通安全施設一般管理	34
河川管理・維持改修費	34

9 公園等の維持整備

都市公園安全安心対策緊急総合支援事業	35
都市計画施設維持費	35
住宅管理費	36

10 上下水道の整備

水道事業費	36
下水道費	36

V 誰もが学べ、個性を誇れるまちづくり

1 国際交流の推進

国際交流事業	37
--------	----

2 統合文教施設整備

統合文教施設整備	38
----------	----

3 学校教育の充実

教育委員会費・事務局管理費	39
就学奨励費	39
教職員住宅管理費	39
教育用財産管理費・基金管理費	39
小学校管理費	40
中学校管理費	40
学校給食事業費	40
小学校振興費	41
中学校振興費	41

4 生涯学習の推進と文化振興

社会教育総務費	42
講座事業費	42
公民館管理費	42
公民館事業費	42
全国童画展事業費	43
文化財保護一般管理費	43
資料館管理費	43
青少年対策費	43
生涯スポーツ推進費	44

5 インターハイ登山湯沢町実行委員会

インターハイ登山湯沢町実行委員会	44
------------------	----

本書は、湯沢町の予算について分かりやすく伝えることを目的に作成しています。詳細について一部省略している場合があります。詳細については予算書をご覧ください。湯沢町役場総務課において公開しています。また、有料にて販売もしております。（一般会計予算書：820 円、特別会計予算書：870 円）

VI 持続可能な自立したまちづくり

1 協働によるまちづくりの推進	
湯沢町まちづくり基本条例の制定	45
2 国土調査事業の推進	
国土調査の推進	45
3 行政運営の向上	
人員適正化	46
合理的かつ柔軟な行政組織の編成	46
職員の資質向上	46
事務事業評価の導入	46
4 町税等の徴収対策の強化	
徴収費	47
徴収囑託員費	47

VII 行政サービス・行政機能

1 選挙に関する経費	
選挙管理委員会費・県知事選挙費・農業委員会委員選挙費	48
2 議会に関する経費	
議会費	48
3 税金の課税に関する経費	
賦課費	49
固定資産評価審査委員会費	49
4 戸籍・住民登録等に関する経費	
戸籍住民基本台帳費	49
民生総務費	50
国民年金事務費	50
5 統計調査に関する経費	
統計調査費	50
6 情報化に関する経費	
情報化推進費	50
7 労働対策に関する経費	
労働対策費	51
8 借入金の返済に関する経費	
公債費	51
9 監査に関する経費	
監査委員費	51
10 財産・庁舎管理に関する経費	
財産一般管理費	52
庁舎管理費	52
基金管理費	52
湯沢高原関連施設整備	53
役場庁舎東館の耐震補強工事	53
湯沢こころのふるさと基金	54
11 路線バスの運行に関する経費	
路線バス運行補助金	55
12 湯沢町役場各課等問合せ先	
問合せ先	55